

見出し(展覧会名など)

平成31年度 第一回高校生特派員交流会

学校名(水城高等学校 2年)

特派員名(木下 陽斗)

今回は特派員の一人として特派員の交流会に参加してきました。主な内容は今後の茨城県近代美術館について検討し発表し合うというものでしたが、その中でも話題の中心として目立ったのが「若者の利用者が少ない」というものです。

確かにインターネットが普及した現代において、「わざわざ高いお金払って本物見なくても……」という意識は少なからずあると思います。興味の無い人は尚更でしょう。

そこで今回意見として挙げたのが、「自習室としてのスペース解放・それに供う閉館時間延長」や「カフェ・ショップの充実」、「近代美術館のイメージの明確化」など、美術館の多義化を求める声でした。言い換えればこれらは、「敷位を低くして入りやすくすべき」という意見にも個人的には感じました。

これから、特に公立美術館は立ち位置が難しくなると思いますが、そんな中だからこそ新たな社会的価値の創造が大切で、それを少しでも手伝えたならと思います。

茨城県近代美術館
ブログキャラクターさんびー

最後に様々な意見が聞けて個人的にとっても勉強になりました。